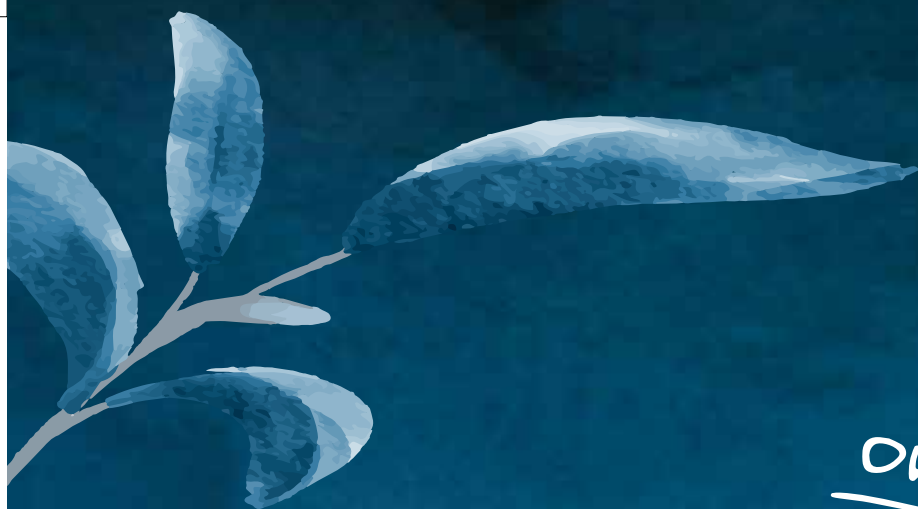




GOOD IDEA

only success!!!

PERSONAL STUDY

成果が出る勉強法
小学4年生 **Best3**



家で「宿題以外の勉強」をやらせるにはどうしたら良い？



保護者様からのお悩みで本当に多い『宿題以外の勉強をやってくれない!』についてお答えしたいと思います。

「宿題を終わらせたらすぐゲームばかり!」

「宿題以外の勉強をしたら?と言ってもなかなかやらない!」

このような悩みを持たれる保護者の方はたくさんいます。

ではなぜ、お子さんは宿題以外の勉強が出来ないのでしょうか？

答えは簡単で、宿題以外の勉強のやり方を知らないからなのです。

「やり方が分からないって…。苦手なところをやれば良いのでは?」と思うかもしれません。

でも、これは宿題をやるよりもハードルが高いことなのです。

なぜなら宿題は先生が決めてくれるので、やることが決まっていますよね。

「苦手なところを勉強すればいいのに」

「計算でも漢字でもいいから勉強すればいいのに」

これだと子どもからしたら何をすればいいのか分かりません。

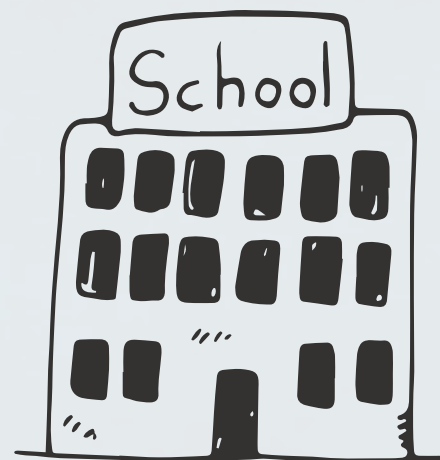
宿題以外の勉強が出来ていないようなら、

何を勉強すべきか具体的に伝えてあげましょう。

そこで、始めは具体的に

「いつ」「何を」「どうやって」

勉強するのかを提示してあげましょう。



例えば

「月曜は計算ドリルで1ページ、火曜は漢字を5つ覚える、水曜は国語の教科書の物語を2つ読む…」

と曜日で決めてあげます。

例えば

「毎日家に帰って夕飯までの間の20分は勉強の時間にする」

「勉強しなさい」の一言だけでなく、その勉強の内容や勉強する時間までをお子さんと相談して決めてみてください。

内容と時間を一緒に決めてあげるだけでも勉強に対するハードルはガクンと下がりますし、自分できめたことであれば行動促進にもなります。

「毎週〇ページやったら、今月末までには〇ページ出来るね。」など見通しを立てて目標を共有するのも効果的です。

宿題以外の勉強が進まないお子さんをお持ちの保護者の方は、是非参考にしてみてください。

勉強を習慣づけるには？

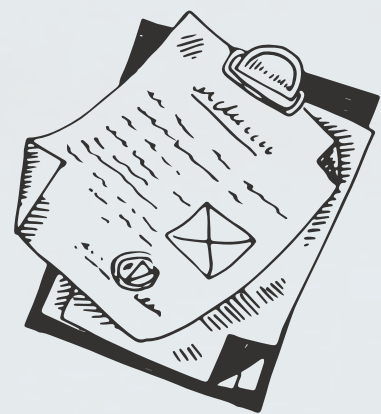
習慣は子供でも大人でも、なかなか身に付きません。

好きなもの(やりたいこと)は別ですが、そうではないものを習慣にするのは本当に難しい。

そのためには仕掛けが必要です。

そして小学3年生の子が自分で仕掛けを用意して習慣にしたい!と思っている子はそうそういません。

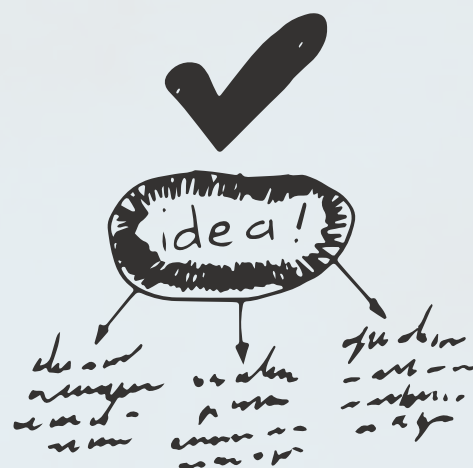
ですので、保護者様の協力が必要です。



今からこれらを一つひとつ解説していきます。

習慣づけの「3つのコツ」

自己肯定感を高める
ハードルを低くする
時間を決める



1. 自己肯定感を高める

まずその子の自己肯定感を上げる仕掛けが必要です。

自己肯定感とは「ぼく(わたし)ならできる」と思えるかどうか、ということです。

勉強が嫌いな子の傾向として、「勉強が楽しい」と思った経験がありません。

また「どうせやっても無理だし、わかんないし…」と初めからあきらめています。

今の点数を気にしていない子も少なくありません。

そこで、例えば、前学年、場合によっては、2学年、3学年下げた問題を週に1・2回実施します。

その1回の問題も5問～10問くらいの小テストで大丈夫。

ポイントは「100点を取れる内容かどうか」というところです。

それを繰り返すことで90点～100点を取るということに慣れさせていきます。

勉強が嫌いな子は自分の点数を気にしません。

30点でも50点でも「べつに～」という感じです。

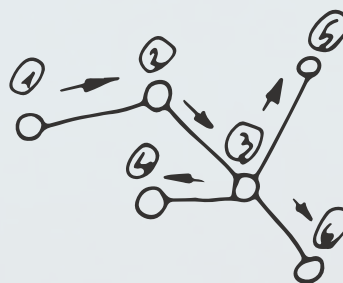
そういった子に満点を取るぞとか目標を伝えてもイメージが持てないのです。

ですので、カンタンな問題で「100点を取る」という経験を繰り返させていきます。

すると、たまに60点とかを取ったときに「ちゃんと悔しがる」ようになります。

ここが大事です。

このようにして自己肯定感を高めていきます。



2. ハードルを低くする

学習する量も、最初の2週間は毎日計算ドリルを1ページとか本当に無理のない量にします。

人間は急激な行動の変化は継続できないのです。

勉強時間も、最初から1時間とかではなく、まずは15分でも10分でも良いです。

できるようになってから、少しずつ長くしていきましょう。

3. 時間を決める

「勉強時間がどうしてもバラバラになる」という言葉もよく聞きますが、癖がつくまではできる限り決まった時間に勉強をするようにしてください。

癖がつけば、多少ずらしてもいいですが、それまではなるべく決まった動きをさせてあげて下さい。

そしてそれを「継続するためのポイント」として、保護者様がやったかどうかの確認をしてあげてください。

そして、できていれば褒めてあげる。

「今日も頑張ったね!」

その一言だけでOKです。

人間には褒められた行動は繰り返すという習性があります。

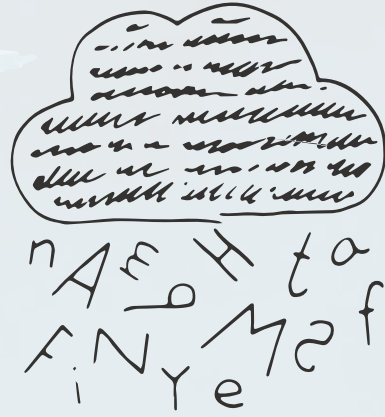
そうすることで、習慣はついていきます。

たまにやってもいないのに「やった!」ということもあるので、中身を確認してあげてくださいね。

簡単なことから始めてこのサイクルを身につけさせていきましょう。



作文の練習方法



「文章力」、「読解力」、「作文」、その中でも特に「作文」は頭を悩ませるスキルですね。
本日は日頃の勉強に10～15分ほどで取り入れられる簡単な「作文の練習方法」について
お伝えしていきます。

今の高校入試では理解力と合わせて「表現力」も試される傾向があります。

もうすでに当たり前で、授業スタイルも表現力を必要とした「アクティブラーニング」が徐々に
導入されつつあります。

論理的思考や自分の考えを上手く要約し表現する能力を身に付けるためにも、
週に1回でも良いので少しずつ文章を書かせる時間を作ってあげると「文章を書くこと」に
抵抗がなくなってきます。

では実際にどのように練習するかというと、内容は簡単です。
例えば「好きなたべものは？」とテーマを決めて、答えてもらいます。

そして
「それがなぜ好きなのか」
「それはどういったものなのか」
を思いつくことをすべて書き出します。

最後にそれをつなげていくことで、文章が出来上がります。
3年生の段階ではまず書き出すということがゴールで大丈夫です。

その他でも

「パンとご飯だとどっちが好きですか？理由と一緒に書きましょう」

など分かりやすいテーマにして自分の意見を書いてもらいます。

そのときのポイントとしては、例えばメリット・でメリットのマトリックスのようなものに書き込むと非常に頭の中が整理でき、分かりやすくなります。

思いつくことを全部書き出したうえで、これも文章にします。

これは「**マインドマップの思考トレーニング**」と呼ばれるものです。

「マインドマップ」はあらゆる分野で成果を出している思考法なので、今のうちに練習をしておくと今後のスキルアップにつながります。

当塾で使用しているシートを添付していますので是非活用してみてください!!

